



美浜町学校再編保護者説明会

～小中一貫校建設候補地調査について～

令和8年1月
美浜町・美浜町教育委員会

本日の予定

1. これまでの学校再編の検討経過
2. 建設候補地の評価及び課題の比較
3. 保護者アンケート調査
4. 質疑応答

美浜町学校再編検討経過

年度	項目	事項
平成29年度	美浜町小中学校再編のための基本構想	学校再編の必要性と基本コンセプトを示す 「子どもたちにとってより良い教育環境を」
平成30年度	美浜町学校施設等個別計画	長寿命化計画策定
令和元年度	美浜町小中学校再編実施計画	令和4年に河和南部小学校再編 令和10年に小中一貫校を目指す
令和4年度	河和南部小学校と河和小学校の統合（4月）	
	夢づくりワークショップ（10月～5年1月）全4回	住民参加型の夢づくりワークショップ
令和5年度	学校再編住民説明会（6月）	美浜の特色を生かした小中一貫校を目指す 場所は現在調査中
	学校づくりワークショップ（10月～6年1月）全4回	住民参加型の新しい学校づくりワークショップ
	学校再編住民説明会（11月～12月）	大学の敷地内に設置を目指す
	美浜町小中一貫校整備基本構想（6年3月）	令和10年に大学敷地内で小中一貫校を目指す
令和6年度	町政報告会（8月）	開校年次見直し 令和12年に小中一貫校を目指す
	美浜町小中一貫校基本計画（7年3月）	大学敷地内での設置が困難と判断
令和7年度	美浜町小中一貫校建設候補地調査（12月）	大学敷地内外での建設候補地調査 河和中学校での小中一貫校整備の方針示す

建設候補地の評価及び課題の比較

候補地 1,2,3
大学敷地内及び
隣接地

候補地 5

候補地 4

【凡例】

- 候補地
- 小学校区
- 中学校区
- 名古屋鉄道

- 小学校
- 中学校
- 学校給食センター
- 日本福祉大学



5km

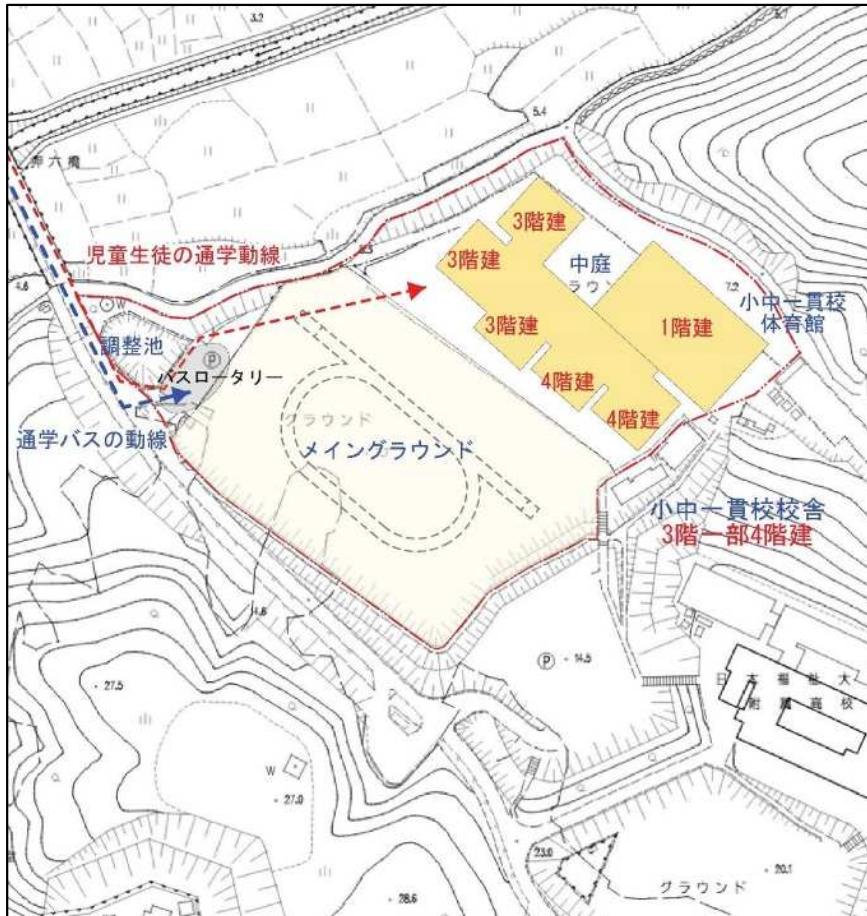
0 1km 2km 3km

建設候補地の評価及び課題の比較

候補地1：日本福祉大学美浜キャンパス 第2グラウンド・多目的フィールド

総合評価△

- ・将来の用途変更ができないため、計画設計段階において大学との合意形成が必要
- ・第2グラウンド・多目的フィールドの代替地確保が必要



※配置案は一例です。

経済性△

- ・アプローチ道路のための造成費用が掛かる。
- ・雨水表面貯留改修費が掛かる。
- ・用地取得費 約39,468千円
- ・施設整備費 約9,722,460千円
- ・スクールバス購入費 約219,001千円 25台
- ・スクールバス運営経費 約101,685千円/年

事業スケジュール×

- ・市街化調整区域のため、関係機関と協議が必要。
- ・都市計画決定後は大学との協議が前提となり、スケジュールの見通しが立てにくい。
- ・諸手続きのみで1年間を要する。

開校時期×

- ・一部用地取得、都市計画決定が必要であり、開校時期の見通しが立てにくい。

建設候補地の評価及び課題の比較

候補地2：日本福祉大学美浜キャンパス 7号館・8号館及び学生会館周辺

総合評価×

- ・将来の用途変更ができないため、計画設計段階において大学との合意形成が必要
- ・7号館、8号館では床面積が足らないため、校舎や体育館の整備が必要



※配置案は一例です。

経済性△

- ・アプローチ道路のための造成費用が掛かる。
- ・施設整備費 約8,829,739千円
- ・スクールバス購入費 約219,001千円 25台
- ・スクールバス運営経費 約101,685千円/年

事業スケジュール×

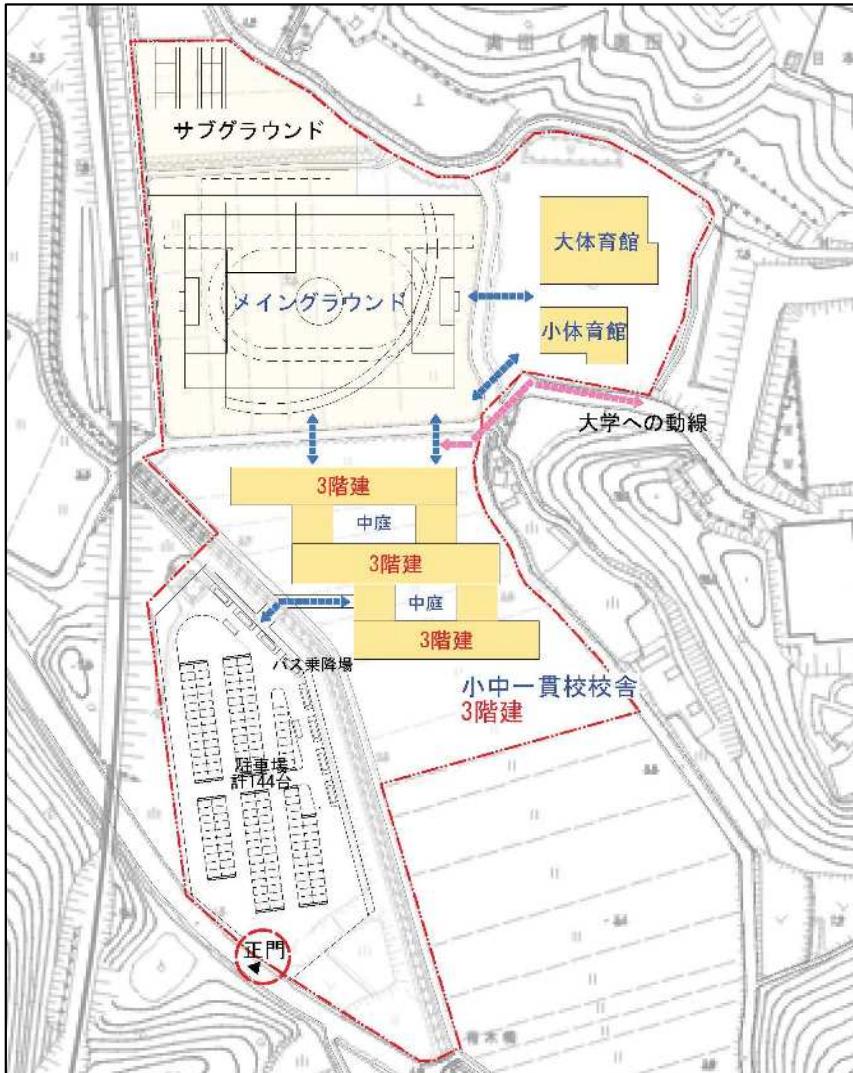
- ・市街化調整区域のため、関係機関と協議が必要。
- ・都市計画決定後は大学との協議が前提となり、スケジュールの見通しが立てにくい。
- ・諸手続きのみで1年間を要する。

開校時期×

- ・都市計画決定が必要であり、開校時期の見通しが立てにくい。

建設候補地の評価及び課題の比較

候補地3：日本福祉大学美浜キャンパス隣接地



※配置案は一例です。

総合評価×

- ・多数の用地取得を伴う
- ・造成費が多くかかる
- ・洪水浸水想定について対応策が必要である

経済性△

- ・用地取得費が掛かる。
- ・校舎用地及びアプローチ道路のための造成費用が掛かる。
- ・用地取得費 約337,723千円
- ・施設整備費 約9,676,898千円
- ・スクールバス購入費 約219,001千円 25台
- ・スクールバス運営経費 約101,685千円/年

事業スケジュール×

- ・用地取得が多数のためスケジュールに余裕を持たせることが望ましい。
- ・市街化調整区域のため、関係機関と協議が必要。
- ・諸手続きのみで1年間を要する。

開校時期×

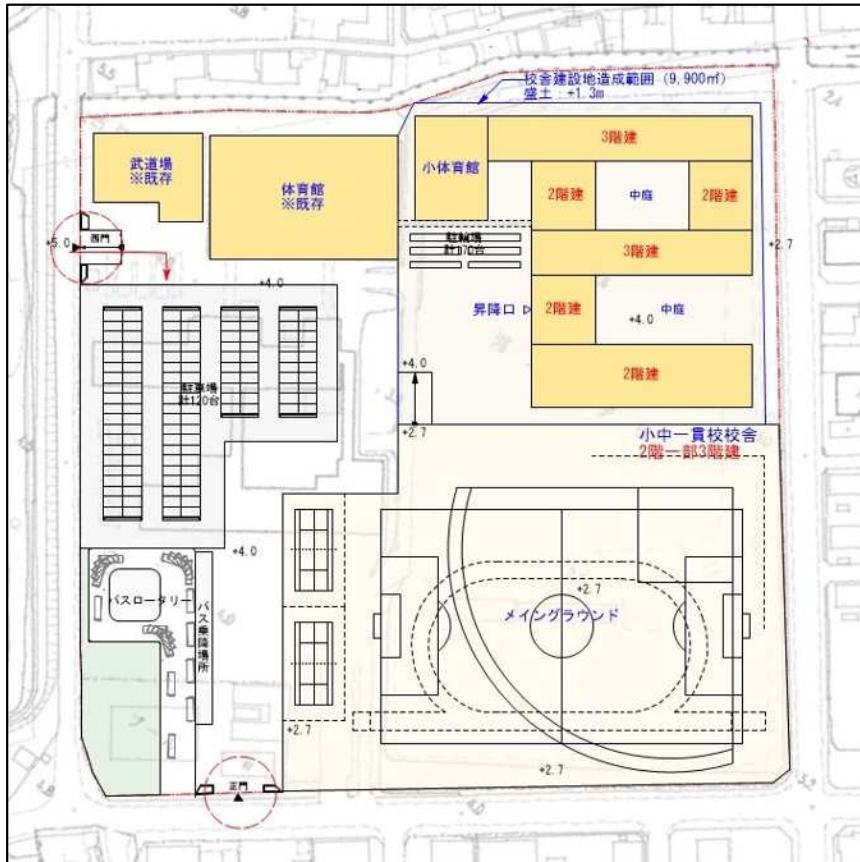
- ・用地取得、都市計画決定が必要であり、開校時期の見通しが立てにくい。

建設候補地の評価及び課題の比較

候補地4：河和中学校

総合評価○

- ・アクセス性が良好である
- ・事業スケジュールの見通しが立てやすく事業化が図りやすい



※配置案は一例です。

経済性○

- ・現状地盤面を活かす場合は造成費用が抑えられる。
- ・施設整備費 約7,738,381千円
- ・スクールバス購入費 約148,921千円 17台
- ・スクールバス運営経費 約69,146千円/年

事業スケジュール○

- ・工事中の学校環境への影響を考慮する必要があるが、事業スケジュールの見通しが立てやすい。

開校時期○

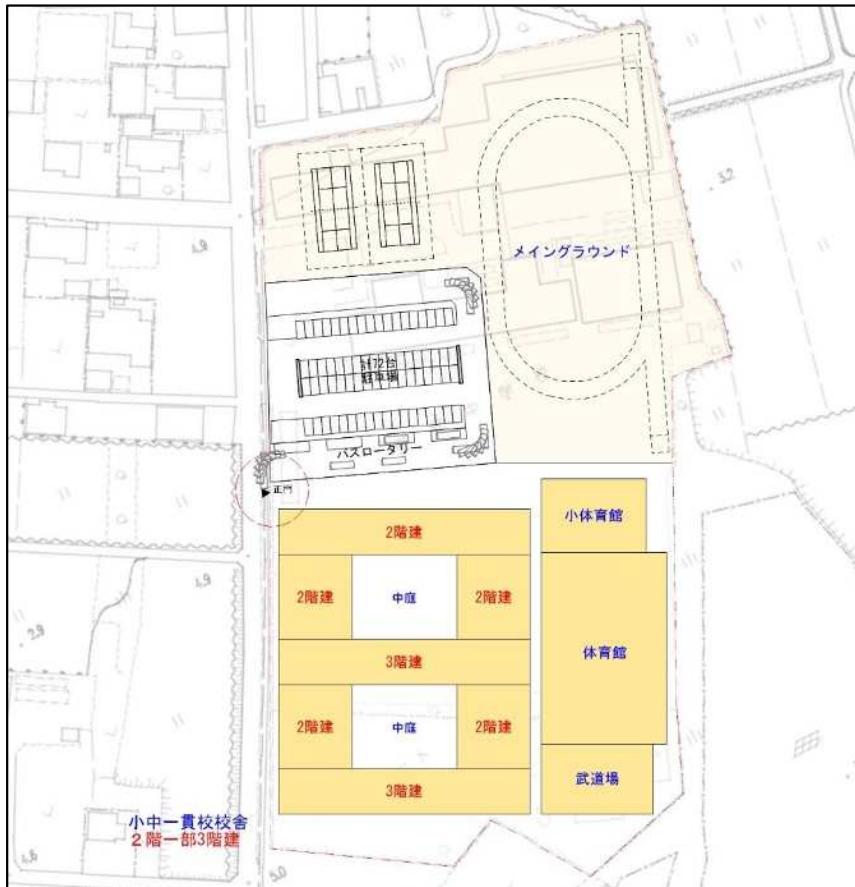
- ・令和13年開校を検討することが可能である。

建設候補地の評価及び課題の比較

候補地5：野間中学校

総合評価△

- ・用地取得を伴わない
- ・工事中の学校環境への影響を考慮する必要がある
- ・敷地が狭いため、学校を運営しながらの施工計画が立てにくい



※配置案は一例です。

経済性△

- ・現況地盤面を活かす場合は造成費用が抑えられる。
- ・施設整備費 約9,355,093千円
- ・スクールバス購入費 約201,481千円 23台
- ・スクールバス運営経費 約93,551千円/年

事業スケジュール△

- ・狭い敷地において学校を運営しながらの工事となるため事業スケジュールに配慮が必要である。

開校時期○

- ・令和13年開校を検討することが可能であるが、工事中の学習環境への影響が大きい。

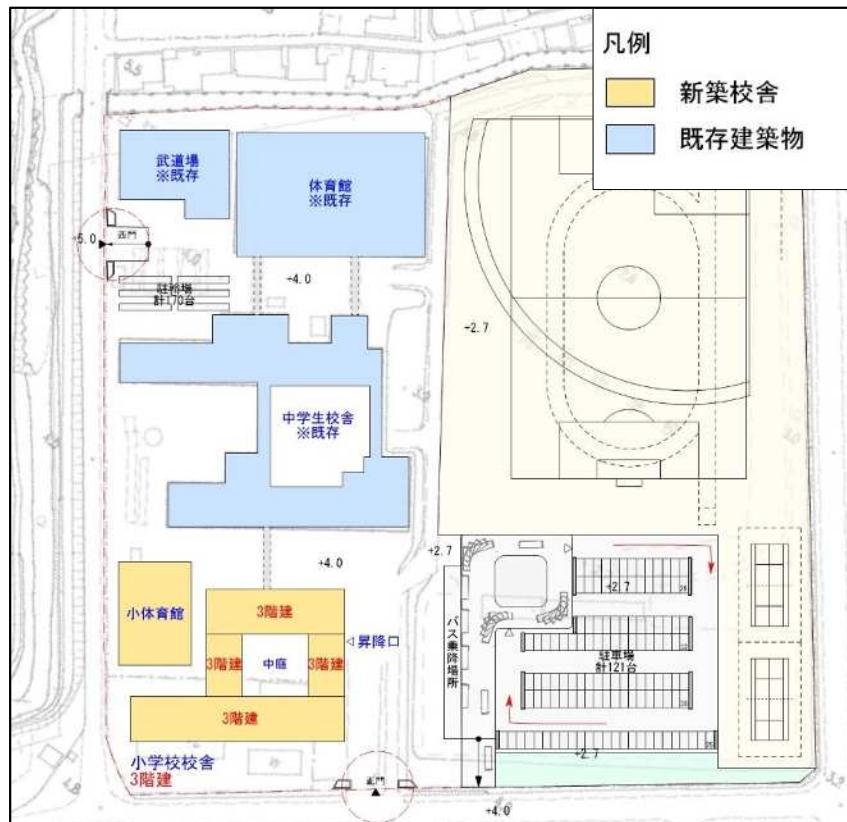
建設候補地の評価及び課題の比較

候補地4-2：河和中学校（既存校舎活用）

（既存校舎を活用し、小学校校舎・屋内運動場を建設するケース）

総合評価○

- ・現況の地盤高さを生かした施設配置であるため、大規模な造成工事が不要である。
- ・アクセス性が良好であり、事業費を最も抑えることが可能である
- ・事業スケジュールの見通しが立てやすく事業化が図りやすい



経済性○

- ・現況地盤面を活かす場合は造成費用が抑えられる。
- ・施設整備費 約4,009,658千円
- ・スクールバス購入費 約148,921千円 17台
- ・スクールバス運営経費 約69,146千円/年

事業スケジュール○

- ・工事中の学校環境への影響を考慮する必要があるが、事業スケジュールの見通しが立てやすい。

開校時期○

- ・令和13年開校を検討することが可能である。

建設候補地の評価及び課題の比較

	候補地1 大学北エリア	候補地2 大学7.8号館	候補地3 大学隣接地	候補地4 河和中学校	候補地5 野間中学校	候補地4-2 河和中学校 既存校舎活用
概算事業費	約98億	約88億	約100億	約77億	約94億	約40億
バス台数	25台	25台	25台	17台	23台	17台
経済性	△	△	△	○	△	○
事業スケジュール	×	×	×	○	△	○
開校年次	未定	未定	未定	令和13年度	令和13年度	令和13年度
総合評価	△	×	×	○	△	○

小中一貫校建設候補地調査結果より

町の方針として、河和中学校敷地内に、既存校舎を活用し、

新しい小学校を建設し小中一貫校として整備したい

と考えています。

保護者のみなさんのご意向をお聞かせください。

【参考】学校再編メリット・デメリット

なお、この方針で実施できない場合には、今後、東西それぞれに小学校を統合することを検討する必要があります。

ご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

	小中一貫校を整備する	東西にそれぞれ小学校を統合する
場所	河和中学校敷地内に小学校を新設する	小学校は、東1校、西1校に統合
中学校	中学校は河和中学校校舎を活用	中学校は、河和中、野間中そのまま使用
開校	令和13年度に開校が可能	令和13年度までに統合が可能
クラス	クラス替えが可能	将来的にクラス替えができなくなる
部活動	部活動の幅が広がる	部活動の幅が制限される
通学	西部及び東部の一部の児童生徒はスクールバス通学となる	一部の小学生がスクールバス通学となる
教育	小中交流や大学連携が可能である	大学連携が可能である

保護者アンケートにご協力ください。

保護者意向調査

町の方針として、河和中学校敷地内に、既存校舎を活用し、新しい小学校を建設し小中一貫校として整備したいと考えています。

この方針に、

1. 賛同する
2. 賛同できない

⇒QRコード等により
アンケートに ご回答ください。
よろしくお願ひします。

保護者のみなさんのご意向をお聞かせください。